

BANDY World Championships 2013 (バンディ世界選手権 2013 スウェーデン大会)

大会報告



2013年2月

一般社団法人日本バンディ連盟

1. 大会概要

(1) 開催期間・開催地

Aグループ : 2013.1.27~2013.2.3 Vänersborg(ヴェーナシュホリ),Sweden

Bグループ : 2013.1.23~2012.1.26 Vetlanda(ヴェートランダ),Sweden

(2) 参加国 (14カ国)

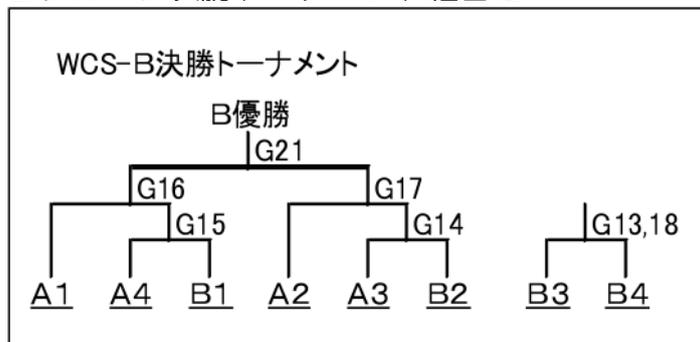
Aグループ : Sweden, Russia, Kazakhstan, Finland, Norway, Belarus

Bグループ : U.S.A., Canada, Hungary, Latvia, Netherlands, Estonia
, Japan, Ukraine

Bグループ予選リーグ組合せ

WCS-B予選リーグ(2012大会成績)	
Pool A:USA(A-6)	
Canada(B-2)	
Hungary(B-3)	
Latvia(B-4)	
Pool B:Netherlands(B-5)	
Estonia(C-1)	
Japan(C-2)	
Ukraine(-)	

Bグループ決勝トーナメント組合せ



2. 大会結果

Aグループ		Bグループ	
第1位	Russia	第1位	USA
第2位	Sweden	第2位	Canada
第3位	Kazakhstan	第3位	Hungary
第4位	Finland	第4位	Latvia
第5位	Norway	第5位	Estonia
第6位	Belarus	第6位	Netherlands
		第7位	Japan
		第8位	Ukraine

(Bグループ USA ,Canada はAグループへ昇格)

3. 日本チーム試合記録

(1) 予選リーグ第1戦 (2013.1.24 13:30 開始 Sapa Arena)

●日本 2 - 3 オランダ○

Goal

32:31 #18 石岡 元 (Assist #66 川口 真吾)
55:42 #16 藍原 弘典



(2) 予選リーグ第2戦 (2013.1.24 19:30 開始 Sapa Arena)

●日本 0 - 3 エストニア○



(3) 予選リーグ第3戦 (2013.1.25 09:30 開始 Sapa Arena)

○日本 8 - 3 ウクライナ●

Goal

05:17	#34	服部 直記	
12:16	#11	宮川 真紀	(Assist #3 石岡 男)
13:19	#11	宮川 真紀	(Assist #3 石岡 男)
16:32	#13	寺島 裕二	(Assist #18 石岡 元)
22:55	#66	川口 真吾	
41:35	#18	石岡 元	(Assist #27 佐々木 章人)
57:52	#11	宮川 真紀	(Assist #14 金子 真英)
61:56	#18	石岡 元	



(4) 7-8位決定戦第1戦 (2013.1.25 13:30 開始 Sapa Arena)

○日本 6 - 5 ウクライナ●

Goal

03:57	#18	石岡 元	(Assist #24 石岡 仁)
21:28	#18	石岡 元	
27:54	#16	藍原 弘典	
37:18	#18	石岡 元	
42:28	#17	栗林 周次	(Assist #27 佐々木 章人)
57:51	#11	宮川 真紀	



(5) 7-8位決定戦第2戦 (2013.1.26 12:00 開始 Sapa Arena)

○日本 3 - 1 ウクライナ●

Goal

33:24 #17 栗林 周次 (Assist #1 田中 智志)
 50:26 #16 藍原 弘典
 51:44 #18 石岡 元 (Assist #3 石岡 男)

※この試合により、7-8位決定戦2戦2勝で、日本のBグループ7位が決定。



(6) Goal・Assist 結果

Goal			Assist		
#18	石岡 元	7	#3	石岡 男	3
#11	宮川 真紀	4	#27	佐々木 章人	2
#16	藍原 弘典	3	#66	川口 真吾	1
#17	栗林 周次	2	#18	石岡 元	1
#34	服部 直記	1	#14	金子 真英	1
#13	寺島 裕二	1	#24	石岡 仁	1
#66	川口 真吾	1	#1	田中 智志	1
総計 19			総計 10		



4. 日本の戦績

今回の世界選手権Bグループは、8カ国が参加しました。まずA・B二つのプールに分かれて予選リーグが行われ、日本は、Bプールでオランダ、昨年対戦し1分1敗だったエストニア、そして今回初出場のウクライナと同組の予選を戦いました。決勝トーナメントへは、上位2チームが進めますが、日本は、前述の試合記録のとおり1勝2敗のBプール3位で、惜しくも決勝トーナメント進出を逃し、7-8位決定戦へ進みました。

7-8位決定戦は、2試合でのトータルで決定されるものでしたが、ウクライナに対して、2勝-0敗として堂々の7位を勝ち取りました。

日本は、昨年、世界選手権初出場で「Excellent Play!」と紹介されるなど、衝撃的な印象を与えました。今年の出場国は、それぞれ元プロ選手などで補強し戦力アップを図っており、全体にレベルが上がっております。一方、日本の技術・戦術レベルも昨年に比べ格段に向上しており、惜敗した試合も内容としては互角であった他、元プロ選手による強化をしていたウクライナに対して3勝を収めた。

ただ、今後の課題としては、個々のスキルアップはもちろん、フルバンディリンクでの試合経験を積んでいながら、フルバンディにおける戦術的な適応を更に図る必要があると思われまます。



5. バンディ世界選手権 2013 日本選手団

団 長：高村 博正
副 団 長：志水 隆一，宅野 六朗
監 督：前田 将昭
主 将：石岡 元
スタッフ：千葉 智紹

No	氏名	ポジション	背番号	所属
1	高村博正	団長	-	大阪大谷大学名誉教授
2	志水隆一	副団長	-	公益財団法人都市活力研究所
3	宅野六朗	副団長	-	医療法人榊原クリニック
4	前田将昭	監督	-	学校法人大阪医科大学
5	千葉智紹	Staff	-	SET YOU FREE
6	石岡元	MF	18	有限会社ジグ・スポーツ・プロジェクト
7	楠本泰教	DF	19	株式会社コナミスポーツ&ライフ
8	金子真英	DF	14	株式会社JCB
9	寺島裕二	FW	13	サーティーンスポーツ
10	藍原弘典	MF	16	パナソニック株式会社
11	石岡仁	DF	24	有限会社ジグ・スポーツ・プロジェクト
12	服部直記	MF	34	三菱地所レジデンス株式会社
13	川口真吾	FW	66	株式会社阿部新聞店
14	田中智志	GK	1	株式会社パティネレジャー
15	石岡男	FW	3	釧路蒲鉾工業協同組合
16	香川泰大	MF	7	コーセーコスメポート株式会社
17	佐々木章人	MF	27	大王製紙株式会社
18	栗林周次	FW	17	株式会社ポータス
19	大谷賢司	MF	10	愛媛パッケージ株式会社
20	宮川真紀	MF	11	前田建設工業株式会社
21	松本和樹	GK	23	関西学院Osaka International School
22	小久保堤斗	MF	9	Pomfret School (USA)



団長 高村 博正



副団長 志水 隆一



副団長 宅野 六朗



 <p>監督 前田 将昭</p>	 <p>スタッフ 千葉 智紹</p>	 <p>主将/#18 石岡 元</p>
 <p>#19 楠本 泰教</p>	 <p>#14 金子 真英</p>	 <p>#13 寺島 裕二</p>
 <p>#16 藍原 弘典</p>	 <p>#24 石岡 仁</p>	 <p>#34 服部 直記</p>
 <p>#66 川口 真吾</p>	 <p>#1 田中 智志</p>	 <p>#3 石岡 男</p>
 <p>#7 香川 泰大</p>	 <p>#27 佐々木 章人</p>	 <p>#17 栗林 周次</p>
 <p>#10 大谷 賢司</p>	 <p>#11 宮川 真紀</p>	 <p>#23 松本 和樹</p>
 <p>#9 小久保 提斗</p>		

6. 最後に

日本は、昨年の初出場に続き、2年連続でバンディ世界選手権大会に出場いたしました。

出場したBグループにおいて、日本は、予選リーグ1勝2敗と惜しくも決勝トーナメント進出は逃しましたが、元プロ選手を擁するエストニアとオランダに惜敗、同じく元プロ選手を擁するウクライナには順位決定戦も含め3勝するなど、大会を通じて3勝2敗の成績で終了しました。日本は、昨年のカザフスタン大会に比べレベルの高い対戦国と互角に戦うなど、着実にレベルアップをしていることを実感いたしました。今後、フルバンディリンクでの経験を更に積むことで、確実にBグループ上位に、そして、世界のトップグループであるAグループへの昇格も見えてきたと確信できる大会となりました。

日本バンディは、昨年、ロシア・ハバロフスクのバンディ連盟との交流を図りました。ハバロフスクは、日本から一番近いプロバンディチームのある都市であり、日本における普及活動や代表チーム強化、指導者・選手育成システムの確立などを具体的に進める上で重要なパートナーとなっています。今後も国際バンディ連盟（FIB）やアメリカ・カナダなどと同様、継続的に交流を図り、日本のバンディ普及のための両国の協力関係を一層強めてまいります。

世界におけるバンディの状況としては、今後、2017年の冬季ユニバーシアード大会やジュニアオリンピック大会などでのバンディの種目採用が検討されているほか、FIBが中心となり、冬季オリンピックへの種目採用への活動を引き続き積極的に推進しております。

日本バンディ連盟（JBF）といたしましても、今後、さらに日本におけるバンディの普及活動に注力しながら、バンディを通じての国際交流や世界大会への出場を通じて競技力の向上を図り、世界における日本バンディの存在感を高めてまいります。また、FIBとの関係を強化し連携しながら、世界におけるバンディ競技の普及と冬季オリンピックへのバンディ競技の採用を目指してまいります。

このように日本の活動は、着実に成果を積み上げておりますが、これも偏に協賛いただいた各社、賛助会員の皆様をはじめとして応援いただいたすべての皆様のお陰と感謝いたしております。

このたびは、誠にありがとうございました。引き続き皆様の暖かいご支援・ご鞭撻をお願いいたします。

2013年2月

日本バンディ連盟・会長
日本選手団 団長 高村 博正